

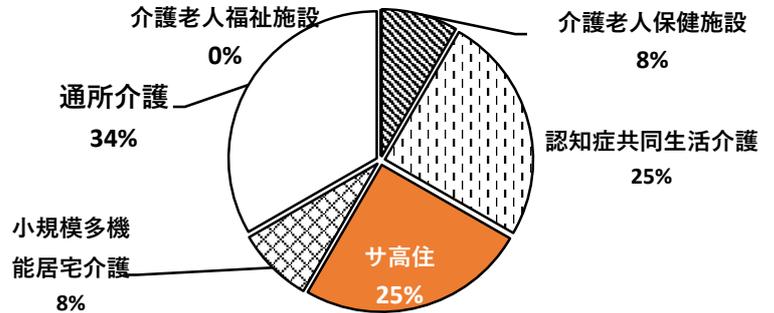
令和4年度介護保険事故報告の集計報告

介護事業所で事故が発生した場合には、保険者への報告義務があります。昨年度（R4年4月1日～R5年3月31日）に町が受理した件数は12件でした。施設内での重大事故は利用者の生命に関わります。そのため、年間の集計分析を行い、傾向と改善策を検証しました。

1 報告件数（施設区分）

施設区分	件数
介護老人福祉施設	0件
介護老人保健施設	1件
認知症共同生活介護	3件
サ高住	3件
小規模多機能居宅介護	1件
通所介護	4件
総件数	12件

入所施設が58%

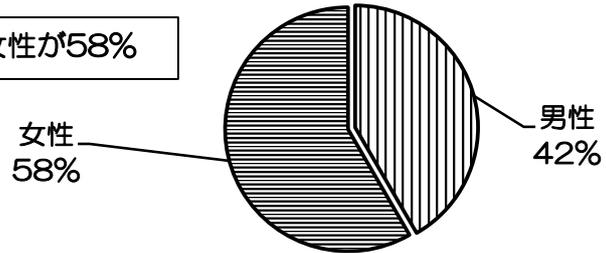


2 対象者

(1) 性別

性別区分	件数
男性	5件
女性	7件
総件数	12件

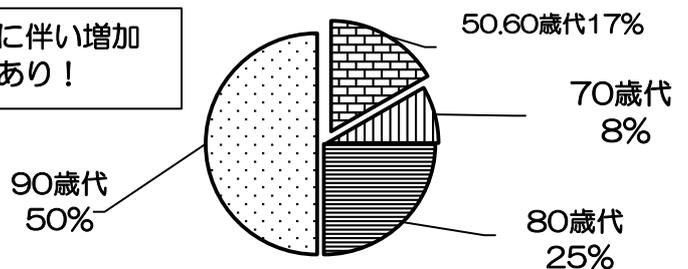
女性が58%



(2) 年代

年代区分	件数
50.60歳代	2件
70歳代	1件
80歳代	3件
90歳代	6件
総件数	12件

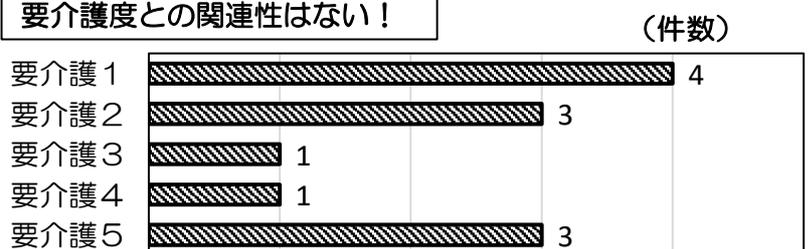
加齢に伴い増加傾向あり！



(3) 要介護度

介護度区分	件数
要介護1	4件
要介護2	3件
要介護3	1件
要介護4	1件
要介護5	3件
総件数	12件

要介護度との関連性はない！



(4) 認知症高齢者日常生活自立度

介護度区分	件数
I	2件
II A	1件
II B	6件
III A	2件
IV	1件
不明	0件
総件数	12件

「誰かが注意していれば自立」の方が多い



3 事故の状況

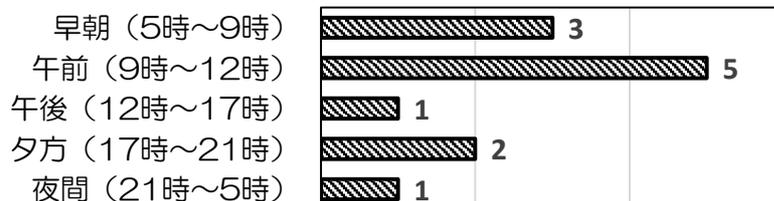
【概要】

事業所でも、家庭内でも事故は突然に発生するため、予測が困難です。
 昨年と同様に、処遇が多い午前が一番多く発生しています。
 全体的には、報告された事故の中では、転倒及び転落が多く、その後、入院・手術になる場合が多い傾向にあります。

(1) 発生時間

発生時間区分	件数
早朝（5時～9時）	3件
午前（9時～12時）	5件
午後（12時～17時）	1件
夕方（17時～21時）	2件
夜間（21時～5時）	1件
総件数	12件

午前（9時～12時）の事故が、一番多い (件数)



(2) 事故の程度区分

程度区分	件数
受診、応急処置	5件
要入院	7件
総件数	12件

要入院が多数 (件数)



(3) 発生場所区分

発生場所区分	件数
居間（居室）	3件
廊下・トイレ	3件
食堂等共用部	1件
浴室、脱衣室	2件
敷地外	3件
総件数	12件

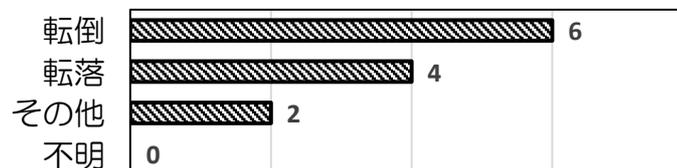
どの場所でも事故が多い (件数)



(4) 事故の種別区分

種別区分	件数
転倒	6件
転落	4件
その他	2件
不明	0件
総件数	12件

転倒、転落が多い。 (件数)



(5) 発生時間及び発生場所

発生時間区分	件数	居間(居室)	廊下・トイレ	食堂等	浴室等	敷地外
早朝（5時～9時）	3件	1		1		1
午前（9時～12時）	5件		1		2	2
午後（12時～17時）	1件		1			
夕方（17時～21時）	2件	1	1			
夜間（21時～5時）	1件	1				
総件数	12件	3	3	1	2	3

4 発生時の対応等

【概要】

多くの事業所が、事故発生後すぐに、バイタル測定、意識確認、応急手当の対応をしており家族にもすぐに連絡をしています。

事故発生時の初期対応は、管理責任を問われることもあり、対応する従事者にとっても、精神的に大きな負担です。

そのため、あらかじめ、日ごろから様々なシュミレーションをしておくことが重要で発生で発生時の適切な初期対応が、重篤化を防ぎ、場合によっては回復を早めることもあります。

※ は、事故の後に入院となった事例です。

発生時の状況等	診断名	バイタル測定	意識確認	応急処置	冷湿布貼付	投薬処方
1 フットレストの上に立ちあがり、左側臥位の状態で転倒	左鎖骨骨折	○	○			
2 居室でベッド下に転落	左大腿部骨折	○			○	
3 トイレから移動しようとしたときに転倒	大腿骨転子下骨折	○				
4 食堂の椅子から立ち上がり、車椅子まで行こうとして転倒					○	
5 ベッドから起き上がろうとして転落	右大腿骨頸部骨折	○				
6 コロナ罹患	新型コロナ	○				○
7 自分で洗身時、バランスを崩し左側に転落	左大腿骨転子部骨折		○			
8 迎え時、玄関の柱につかまり損ねて転倒	右大腿骨骨折		○			
9 廊下を歩こうとしたときに、進路変更しようとして転倒	大腿骨左大転子部骨折	○				
10 介助中に本人脱力により、右側から転落	右手首舟状骨骨折			○		
11 コロナウイルス罹患	新型コロナ					
12 居室にて左側臥位で床に倒れていた	左大腿骨転子下骨折	○				

